

3類型	鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	5-19-006
地域資源名	北山丸太	認定日	平成19年10月12日
地域	京都府 京都市・南丹市	所管省庁	農林水産省・経済産業省

事業名：北山丸太を使った新木材『京の彩り(いろどり)』(仮称)の開発販売

会社名：株式会社山商

所在地：京都市北区大森中町120番地

連絡先：TEL：075-406-2089

H P：http://www.yamasyo-ys.com

FAX：075-406-2110

事業概要(新たな活用の視点)

- ・北山丸太は、自然の丸みをそのまま活かした、表面が美しく光沢のある肌・質感が特に優れた、世界でも類を見ない高級建材であり、京都府の伝統工芸品にも選定されており、600年以前から続いている地域の重要な産業である。
- ・しかし、近年では生活スタイルの変化などにより、和室の床柱として使用されていた北山丸太の需要は減少の一途を辿っている。
- ・このような状況の中、当社は、京都工芸繊維大学の協力を得て、北山丸太の特徴をそのまま活かし、「木を染める」ことに成功し、色のバリエーションをもった新たな北山丸太の開発を実現した。
- ・更に、単なる着色から京友禅の技術・デザインを活かした京都ブランドとしての商品開発を進める。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・通常のペンキ、ラッカーで着色した木材と違い、北山丸太の特徴である質感をそのまま活かした商品である。
- ・着色・加工も簡単で、色のバリエーションが豊富で、製品化も容易である。

◆市場性

- ・住宅着工数は安定的に推移しており、その中で建築材料に対する需要がより個性的で新しい建材が求められており、コストな市場の確保が期待出来る。
- ・アンケート調査によりガーデニング材やベンチなどの日用分野での新用途拡大も期待出来る。

◆販路

- ・まずは、今まで使用例が少なかった北山丸太細口の手すり用としての用途開拓に力を入れる。
- ・また海外への進出も手掛けていく。

地域資源における関係事業者との連携

- ・地元の生産、加工、流通に関わる企業と連携を図り、将来的には京友禅業者との協力によりさらに用途の拡大を図っていく。



【試作品】



【手すり】